

教科		国語	科目名	現代文B		対象学年	2年	単位数	2単位	観点別評価				
使用教科書		新探求現代文B(桐原書店)				教科担当	A組：田邊 裕史 B組：田邊 裕史 C組：伊藤 景一郎			関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
補助教材		カラー版新国語便覧(第一学習社) 読解を深める現代文単語(桐原書店) 初訂版漢字マイスター 頻出漢字熟語3000(第一学習社) 新成現代文2(尚文出版) ちくま評論選(筑摩書房)												
学期	単元	学習内容		配当時間	評価規準(到達目標)			評価方法						
主な学習内容と授業時数	1学期(13週)	評論	「情報の彫刻」		6	関 現代の様々なメディアに関心を持っているか。 書 「紙という素材」の役割が時代によってどのように変化したかを整理することができるか。 読 全文を三つの段落に分け、それぞれの段落の内容をまとめることができるか。 知 語句の意味・用法を理解し、表現上の特色をとらえているか。	提出物	●				●		
							期末考査					●	●	●
							漢字テスト					●	●	
							授業態度	●	●					
		評論	「実体の美と状況の美」		6	話 筆者の論旨をふまえて日本の芸術と西欧の芸術の具体例を挙げ、その違いや特徴を話し合えることができるか。 書 本文の要旨を二百字程度でまとめることができるか。 読 「状況の美」を愛するとはどのようなことか、理解しているか。 知 全文を正しく音読できるか。	提出物	●					●	
							期末考査					●	●	●
	小説	「山月記」		8	関 日本の近代小説や、教材の内容に関心を持っているか。 話 『山月記』のテーマや登場人物の心情について積極的に話し合い、それらをまとめて発表することができたか。 書 李徴の人物像についてまとめることができるか。	提出物	●					●		
						漢字テスト					●	●		
						期末考査					●	●	●	
						授業態度	●	●						
	評論	「物語るといふ欲望」		6	関 教材の内容に関心を持っているか。 話 本文の論旨に沿って小説という表現の特色について積極的に話し合えることができるか。 書 本文の三つの段落に小見出しをつけることができるか。 読 「映画は批評家や観客の主眼的な『読み込み』をもその構成要素として存在している」とはどのようなことか理解しているか。	提出物	●					●		
						漢字テスト					●	●		
期末考査										●	●	●		
授業態度						●	●							
1学期評定														
2学期(13週)	小説	「こころ」		8	関 夏目漱石や、教材の内容に関心を持っているか。 話 『こころ』のテーマや登場人物の心情について積極的に話し合い、それらをまとめて発表することができたか。 書 「私」と「K」それぞれの性格をまとめることができるか。	提出物	●					●		
						漢字テスト					●	●		
						期末考査					●	●	●	
						授業態度	●	●						
	評論	「つながりと秩序」		6	話 「ケータイ」によって社会が変容したという筆者の主張について具体例を交えて話し合えることができるか。(発問・授業時の反応) 書 本文の三段落にそれぞれ小見出しをつけることができるか。 読 「つながりの社会」「秩序の社会」とはどのようなことか理解しているか。	提出物	●					●		
						漢字テスト					●	●		
						期末考査	●				●	●	●	
						授業態度		●	●	●	●	●		
	評論	「身体、この遠きもの」		6	関 身体と意識との関係や、教材の内容に関心を持っているか。 書 本文を二つの段落に分け、各段落の要旨をまとめることができるか。 読 「身体」がいつも「だれかの身体」であるということを理解しているか。 知 全文を正しく音読できるか。	提出物	●					●		
						漢字テスト					●	●		
						期末考査					●	●	●	
						授業態度	●	●						
評論	「絵画の二十世紀」		6	話 「写真派」「絵画派」に別れて、それぞれの短所・長所について話し合えることができるか。 書 「写真」と「絵画」の違いについてまとめることができるか。 読 「写真」の出現がもたらした絵画の変化について理解しているか。	提出物	●					●			
					漢字テスト					●	●			
					期末考査					●	●	●		
					授業態度	●	●							
2学期評定														

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準（到達目標）	評価方法	関心	話す聞く	書く	読む	言語
主な学習内容と授業時数	3学期（9週）	評論	「『である』ことと『する』こと」	8	<p>話 現代日本が「非近代的」な面を残しながらも「過近代的」であるとはどのようなことか具体例を挙げて話し合うことができるか。</p> <p>書 各段落の要旨をまとめることができるか。</p> <p>読 福沢諭吉『学問のすすめ』や、夏目漱石『現代日本の開化』などを適宜参考資料として併せ読むことで、日本社会のあり方についての考えを深めることができるか。</p>	提出物	●			●	
						漢字テスト			●	●	
						期末考査			●	●	●
						授業態度	●	●			
		評論	「陰翳礼讃」	6	<p>関 筆者の他の作品など、積極的に読書する姿勢を見せたか。</p> <p>話 朗読を通して、文章の展開や要旨を的確にとらえているか。（発問・授業時の反応）</p> <p>書 内容の要約や、自分なりのまとめを行うことができるか。</p>	提出物	●			●	
						漢字テスト			●	●	
						期末考査			●	●	●
						授業態度	●	●			
		詩	「永訣の朝」	4	<p>関 近代詩や、詩人・教材の内容に関心を持っているか。</p> <p>話 詩を効果的に朗読したり、それを聞きながら情景を的確にとらえたり、表現を味わったりすることができるか。）</p> <p>書 詩の情景をまとめたり、自分なりの感想をまとめたりすることができるか。</p>	提出物	●			●	
						漢字テスト			●	●	
						期末考査			●	●	●
						授業態度	●	●			
	3学期評定										
年間評定											

教科	国語	科目名	古典B		対象学年	2年	単位数	3単位	観点別評価						
使用教科書	新探求古典B(桐原書店)				教科担当	A組：森田 裕子・米山 芳江・鈴木 葉月 B組：森田 裕子・米山 芳江・鈴木 葉月 C組：森田 裕子・鈴木 葉月			●	●	●	●	●	●	
補助教材	巻頭増補版 常用国語便覧 (浜島書店) 三訂版 プログレス古典総演習 標準編 (いづな書店) 体系古典文法 九訂版 (数研出版) 三訂版 古文単語330 (いづな書店) ・「必携新明説漢文」(尚文出版) ・「新明説漢文ノート」(尚文出版)														
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準(到達目標)			評価方法								
主な学習内容と授業時数	1学期(13週)	物語	『伊勢日記』『芥川』『筒井筒』	6	読 脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 読 登場人物の行動と心理の推移を理解している。作者の感想が示された部分を的確に理解している。 関 「伊勢物語」全体の構成・内容について、調べたり発表したりしている。	提出物	●	●	●	●	●	●	●	●	
						期末考査			●	●	●				
						授業態度	●	●							
						古典単語テスト			●	●					
		日記	『更級日記』『門出』『物語』『継母との別れ』	6	関 平安時代の日記文学について主要な作品や作者などを調べたり発表したりしている。 読 作者の物語への思いの深まりや惜別の寂しさなどを的確に捉えている。物語に対する少女時代の作者の気持ちの変化、晩年における自己批評の内容を的確に捉えている。 知 女流日記文学と「更級日記」について、文学史的知識を持っている。	提出物	●			●					
					期末考査				●	●	●				
					授業態度	●	●								
					古典単語テスト				●	●					
		史伝	「赤壁の戦い」	8	読 赤壁の戦いの顛末と、曹操軍と劉備・孫権連合軍の情勢の変化について理解している。 知 後漢から三国時代へと至る歴史的背景を理解している。	提出物	●			●					
					期末考査				●	●	●				
					授業態度	●	●								
					古典単語テスト					●	●				
	史伝	「背水の陣」	6	関 「史記」の内容や構成について関心を持ち、調べている。 知 登場人物の人物像・性格を理解している。漢楚の抗争の歴史と、その中における韓信の活躍ぶりについて理解している。	提出物	●			●						
				期末考査					●	●	●				
				授業態度	●	●									
				古典単語テスト						●	●				
1学期評定															
2学期(13週)	歴史物語	『大鏡』『花山院の出家』『道長と伊周の競射』『道長の豪胆』	14	知 敬語「侍り」、「候ふ」、「呼応の副詞などの文法事項を理解している。兼家・公任・道長など主要な登場人物について知識を持っている。読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 読 「大鏡」の語りの特徴、構成や成り立ちについて理解している。	提出物	●			●						
					期末考査				●	●	●				
					授業態度	●	●								
					古典単語テスト					●	●				
	史伝	「鴻門の会」	6	読 脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。 読 項王側と沛公側とに分けて登場人物を的確に捉え、各人の役割と言動、心理を理解している。	提出物	●			●						
					期末考査					●	●	●			
					授業態度	●	●								
					古典単語テスト						●	●			
	漢詩	「絶句」「律詩」	6	知 各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。 読 脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。それぞれの詩に表現された心情や情景を的確に捉えている。	提出物	●			●						
				期末考査					●	●	●				
				授業態度	●	●									
				古典単語テスト							●	●			
2学期評定															
3学期(9週)	物語	『源氏物語』『光源氏の誕生』『光源氏と藤壺』『若紫との出会い』	12	知 「源氏物語」について文学史的知識を持っている。 読 和歌の解釈を通して、登場人物の心情を的確に読み取っている。 関 「源氏物語」全体のあらすじについて調べたり発表したりしている。	提出物	●			●						
					期末考査				●	●	●				
					授業態度	●	●								
					古典単語テスト							●	●		
	思想	「老子」「荀子」	6	関 諸子百家が登場した春秋・戦国時代の歴史に関心を持ち、調べている。 知 諸子百家における荀子の位置づけについて、基本的な知識を持っている。 知 孟子の「性善説」と荀子の「性悪説」を比較し、人間の本性に対する認識の違いを理解している。 読 [性善] 告子の主張とそれに対する孟子の反論の要点を的確に捉えている。	提出物	●			●						
				期末考査						●	●	●			
				授業態度	●	●									
3学期評定															
年間評定															

令和4年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校

教科		地歴科	科目名	日本史B		対象学年	2年	単位数	3単位	観点別評価				
使用教科書		詳説 日本史B (山川出版社)				教科担当	A組：幸田 記 C組：幸田 記			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
補助教材		新詳日本史 (浜島書店) 日本史必修史料集 (啓隆社) 日本史重要語句Check List (啓隆社)												
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準 (到達目標)		評価方法								
1 学 期 (1 3 週) 主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	開国と幕末の動乱	・開国 ・開港とその影響 ・尊王攘夷運動から倒幕運動へ	6	開国が日本の政治、経済、社会、文化にどのような影響を与えたのか理解し、外圧と国内の動静の関係を考察できる。		提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				
	明治維新と富国強兵	・新政府の発足 ・廃藩置県 ・地租改正 ・四民平等と国民皆兵 ・富国強兵と殖産興業	6	欧米をモデルとした改革が当時の人々に与えた影響を理解し、近代化の功罪の両面を考察できる。		提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				
	立憲国家の成立と日清戦争	・自由民権運動 ・松方財政 ・憲法制定と条約改正 ・朝鮮問題と日清戦争	6	立憲国家に変貌していく要因を複眼的に理解し、大日本帝国憲法による国家体制の特徴を考察できる。また、日清戦争が東アジアの伝統的な秩序をめぐる対立であった点を理解・考察できる。		提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				
	日露戦争と国際関係	・日露戦争 ・日露戦争後の国内政治 ・日露戦争後の国際政治	6	日露戦争の総力戦的な側面を理解し、また、当時の国際情勢に与えた影響を理解できる。後の第一次世界大戦との関連性を意識して世界的な視野をもって考察できる。		提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				
	近代産業の発展	・日本の産業革命 ・社会問題の発生	6	日本の産業革命の過程をとらえ、技術革新が日清・日露戦争を契機として進んでいくことを理解・考察できる。同時に、労働問題などの社会問題が発生し、当時の大きな課題となっていたことをとらえられる。		提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				
	近代文化の発達	・思想と信教 ・教育や科学やジャーナリズムの発達 ・文芸の発展	6	西洋文化の影響を受けながら日本の伝統文化などが近代的な文化へと変容していく過程を理解・考察できる。		提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				
	1学期のふりかえり	・1学期で学んだこと	3	1学期で学んだ歴史的事実を総合し、明治時代が現代の我々にとってどのような意義があるのかを考察できる。		提出物	●					●		
定期考査						●	●	●	●					
1学期評定														
2 学 期 (1 3 週)	第一次世界大戦と日本	・第一次世界大戦と日本の外交 ・第一次世界大戦と日本の内政	6	第一次世界大戦が日本の外交および国内政治に与えた影響を理解・考察できる。		提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				
	ワシントン体制	・国際秩序と日本の役割 ・国際秩序による協調と限界	6	国際秩序が構築される中で日本の果たした役割と限界の両面を理解して考察できる。		提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				
	市民生活の変容と大衆社会	・大正デモクラシー ・生活様式の変化と大衆文化	6	大正デモクラシーの中で、生活様式も大きく変化し、都市生活者を中心とした大衆文化が成立したことを理解・考察できる。		提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				
	恐慌の時代	・相次ぐ恐慌 ・社会不安の高まり ・井上財政と高橋財政	6	相次ぐ恐慌によって社会不安が高まっていく過程を理解し、社会不安の要因である経済的な動きについて理解を深め、現代の日本経済と結び付けて考察できる。		提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				

	学期	単 元	学 習 内 容	配 当 時 間	評 価 規 準 (到 達 目 標)	評 価 方 法	関	思	技	知	
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 (1 3 週)	軍部の台頭	<ul style="list-style-type: none"> 満州事変と軍部の台頭 日中戦争の泥沼化 	6	社会不安の高まりが軍部への期待感を高め、満州事変以降、軍部が台頭して政治への影響力を増していった過程を理解し、現代社会と比較して考察できる。	提出物	●			●	
						定期考査	●	●	●	●	
		第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦の発生 太平洋戦争開戦へ 絶望的な抗戦へ 	6	欧米の第二次世界大戦の情勢が太平洋戦争開戦の気運を高め、絶望的な戦争を選択してしまった日本の意思決定過程を理解し、考察できる。	提出物	●			●	
						定期考査	●	●	●	●	
		2学期のふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> 2学期で学んだこと 	3	2学期で学んだ歴史的事実を総合し、大正時代・昭和時代前期が現代の我々にとってどのような意義があるのかを考察できる。	提出物	●			●	
						定期考査	●	●	●	●	
	2学期評定										
	3 学 期 (9 週)	占領と改革	<ul style="list-style-type: none"> 占領下の日本 改革と日本国憲法の制定 	4	米軍占領下で日本の政治・社会が大きく変容したことを理解し、日本国憲法の制定過程を把握し、日本人々が新憲法などの改革をどのように受容したのかを考察できる。	提出物	●			●	
						定期考査	●	●	●	●	
		冷戦の開始と講和	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦下の世界 日本の「逆コース」 日本の占領終了 	4	世界情勢と日本の国内情勢を関連して理解し、日本の独立も世界情勢と関連付けて考察できる。	提出物	●			●	
						定期考査	●	●	●	●	
		55年体制	<ul style="list-style-type: none"> 政党政治の復活 55年体制と日本の社会 	4	戦後政治の展開を理解し、55年体制が現代の政治にも大きな影響を与えていることを理解し、社会の変化を考察できる。	提出物	●			●	
						定期考査	●	●	●	●	
		経済復興から経済成長へ	<ul style="list-style-type: none"> 朝鮮戦争と日本の復興 ベトナム戦争と日本の経済成長 	4	海外の戦争と日本の経済成長の関係性を理解し、生活水準の向上と公害の発生という、高度経済成長の功罪両面を考察できる。	提出物	●			●	
						定期考査	●	●	●	●	
経済大国への道	<ul style="list-style-type: none"> オイルショックによる混乱 日米貿易摩擦とプラザ合意 バブル経済 	4	高度経済成長が終わり、低成長時代とバブル景気が日本の社会にどのような影響を与えたのかを理解し、考察できる。	提出物	●			●			
				定期考査	●	●	●	●			
冷戦の終結と日本社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦終結後の世界 冷戦後の日本と平成不況 社会不安の高まりと自然災害 日本の諸課題と日本の役割 	4	冷戦の終結が日本の外交・内政・社会にもたらした影響や自然災害などの発生が社会不安を高め、うきぼりとなった日本社会の諸課題を理解し、社会人として必要な歴史的思考力について考察できる。	提出物	●			●			
				定期考査	●	●	●	●			
3学期のふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> 1年間で学んだこと 	3	1年間で学んだ歴史的事実を総合的にとらえ、現代の我々にとって大きな影響を与えたできごとを考察できる。	提出物	●			●			
				定期考査	●	●	●	●			
3学期評定											
年間評定										-	

教科		地理歴史	科目名	地理B	対象学年	2年	単位数	2単位	観点別評価							
使用教科書		新編詳解地理B (二宮書店) 新詳高等地図 (帝国書院)			教科担当	A組:佐竹 綾 B組:佐竹 綾 C組:佐竹 綾			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解				
補助教材		新詳地理資料COMPLEET (帝国書院) サクシード地理 (啓隆社)														
学期	単元	学習内容		配当時間	評価規準 (到達目標)			評価方法								
1 学期 (1 3 週)	地図と地理的技能 世界像の変遷 地形から見た世界	<ul style="list-style-type: none"> ・地図とGIS 身近な地域と地形図 ・世界像の変遷 投影法と世界地図 ・地図の利用と目的 ・地球の大きさ、経緯度、時差 ・問答演習 		6	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会の中で地理情報システムの活用を理解する ・世界地図から世界像の変遷を読み取り歴史地理的に理解を深める ・地図の目的や利用について考察する ・経緯度や時差を理解する 			提出物		●			●			
								定期考査		●	●	●	●			
								発表活動								
	自然環境① 地形と気候	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の大地形とプレートテクトニクス ・地下資源や自然災害の分布 ・平野の地形を中心にした小地形と人間生活とのかかわり ・乾燥地形、氷河地形、サンゴ礁、カルスト地形など特殊な地形 ・問題演習、時事問題スピーチ 		12	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の大地形と地下資源や自然災害と結びつけて考察する ・山地や平野、海岸の地形など人間生活に関連付けて理解することができる ・映像の活用や地図作業を通して地理的な技能の向上、知識の定着を高める 			提出物		●	●	●	●			
								定期考査		●	●	●	●			
								発表活動		●	●					
	自然環境② 世界の気候と気候区分	<ul style="list-style-type: none"> ・大気循環と気候 ・ケッペンの気候区分 ・熱帯 豊かな生態系 熱帯林の伐採 ・乾燥帯 砂漠 遊牧の生活 砂漠化 ・温帯 気候と農業、生活文化 ・問題演習、時事問題スピーチ 		8	<ul style="list-style-type: none"> ・大気循環による風系を把握し気候との関係を理解する ・ケッペンの気候区分を作業学習を実施し、その分布を体感的に理解する ・各気候帯の特色、植生や土壌の分布、人間生活とのかかわりなど理解し、その要因などにも気づくことができる 			提出物		●	●	●	●			
								定期考査		●	●	●	●			
								発表活動		●	●					
	1 学期評定															
	主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	気候から見た世界 自然災害と環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・冷帯の生活と寒帯の生活 ・自然災害や環境問題 ・日本の自然災害の特色や防災のための対策、身近な取り組み、ハザードマップの活用 ・問題演習、時事問題スピーチ 		8	<ul style="list-style-type: none"> ・亜寒帯や寒帯の特色や人間生活を理解する ・防災的な視点で世界の自然災害をとらえることができる ・日本の自然災害の特色を把握し、身を守るために具体的な行動を考えることができる ・ハザードマップなど地理情報を活用できる 			提出物		●	●	●	●		
									定期考査		●	●	●	●		
発表活動									●	●						
人種や民族 言語、宗教、生活文化		<ul style="list-style-type: none"> ・人種と民族 ・世界の言語 ・世界の宗教 ・衣食住など生活文化 ・問題演習、時事問題スピーチ 		6	<ul style="list-style-type: none"> ・人種、民族の概念を理解し、国際社会の中で生きてゆく基本的な考え方を理解する ・多様な言語のとらえ方、地域的特色などを把握する ・世界の宗教の特色や分布を把握し、人びとの心のよりどころを理解する 			提出物		●	●	●	●			
								定期考査		●	●	●	●			
								ディスカッション		●	●					
・民族問題や地域紛争 ・世界の諸地域 東アジア		<ul style="list-style-type: none"> ・世界のおもな民族問題や地域紛争 ・近隣諸国である東アジア ・中国、アジアNEIS諸地域、朝鮮半島、モンゴル ・問題演習、時事問題スピーチ 		6	<ul style="list-style-type: none"> ・各地の民族問題や地域紛争を知り、問題解決に向けた日本の国際的役割を考察する ・近隣諸国である東アジア諸国について、国際関係の在り方を比較し、表現することができる 			提出物		●	●	●	●			
								定期考査		●	●	●	●			
								発表活動		●	●					
・世界の諸地域 ヨーロッパとEU		<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ ・EUの成り立ちと諸課題 ・おもな国々の現状 ・問題演習、時事問題スピーチ 		6	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や各国の文化的な多様性や共通点などヨーロッパの地域特性を理解する ・EUの成立と目的、拡大EUの現状、ユーロ危機やイギリスの離脱など多面的に考察する ・おもな国々の特色と現状 			提出物		●	●	●	●			
								定期考査		●	●	●	●			
								発表活動		●	●					
2 学期評定																
3 学期 (9 週)	・世界の諸地域 ・東ヨーロッパ諸国 ・CISとロシア	<ul style="list-style-type: none"> ・東ヨーロッパ ・CIS諸国とロシア ・時事問題スピーチ 		6	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や各国の文化的な多様性や共通点を理解する ・東ヨーロッパやCIS諸国の地域特性を理解する ・世界最大の隣国ロシアの豊かさを考察する 			提出物		●			●			
								定期考査		●	●	●	●			
								発表活動		●	●					
	・世界の諸地域 ・東南アジアとASEAN ・南アジアとインド	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアとASEAN ・多様な文化と華人社会 ・南アジアとインド 		7	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアの自然環境や東西文化をつなぐ十字路としての特性を理解しその役割を考察する ・活発な経済活動を進めるASEANの現状や課題、日本との関係などを理解する ・南アジアの自然と生活文化 			提出物		●			●			
								定期考査		●	●	●	●			
								発表活動								
	・世界の諸地域 ・南アジアとインド ・西アジア	<ul style="list-style-type: none"> ・南アジアとインド ・ヒンドゥーとイスラムと仏教 ・砂漠と遊牧、産油国と 		5	<ul style="list-style-type: none"> ・インド亜大陸ともいわれ、独自の文化圏を形成するこの地域を多面的に理解する ・中東の地域的特色、複雑な国際関係を理解する 			提出物		●			●			
								定期考査		●	●	●	●			
								発表活動								
	3 学期評定															
	年間評定															

令和4年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校

教科	地理歴史	科目名	江戸から東京へ		対象学年	2年	単位数	1単位	観点別評価					
使用教科書	江戸から東京へ（東京都教育委員会）				教科担当	A組：西 咲慧 B組：西 咲慧 C組：西 咲慧			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
補助教材	なし													
	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準（到達目標）		評価方法							
主な学習内容と授業時数	1学期（13週）	江戸Ⅰ	・「江戸から東京へ」ガイダンス ・幕藩体制の成立・幕府の外交政策 ・江戸の経済と交通・流通	4	・江戸幕府の大名統制と参勤交代の影響を考察させる。 ・鎖国に至る要因と経緯について考察させる。	提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				
		江戸Ⅱ	・幕府の安定 ・幕政の改革の時代 ・江戸の文化 ・列強の接近 ・江戸幕府の滅亡	4	・各時期の文化の特徴を考察させる。 ・列強のアジア進出を考察させる。 ・黒船来航の影響を考察させる。 ・幕末の政局と社会を考察させる。	提出物	●						●	
						定期考査	●	●	●	●				
		明治Ⅰ	・明治維新と富国強兵 ・殖産興業と文明開化 ・初期の国際問題	5	・明治維新の諸改革を考察させる。 ・経済や生活の近代化を考察させる。 ・領土の画定について考察させる。	提出物	●						●	
						定期考査	●	●	●	●				
	1学期評定													
	2学期（13週）	明治Ⅱ	・自由民権運動と激化事件 ・大日本帝国憲法と初期議会 ・初期の外交政策と条約改正	4	・領土の画定について考察させる。 ・民権運動の展開を考察させる。 ・立憲国家の仕組みを考察させる。 ・政府の外交政策を考察させる。	提出物	●						●	
						定期考査	●	●	●	●				
		明治Ⅲ	・日清戦争・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発展 ・明治文化 ・第一次護憲運動と政党内閣の成立	3	・日本の国際的台頭を考察させる。 ・日本の産業革命を考察させる。 ・西洋文化の受容を考察させる。 ・政党政治への展開を考察させる。	提出物	●						●	
定期考査						●	●	●	●					
大正		・第一次世界大戦と市民文化 ・関東大震災と復興 ・政党政治の展開と世界恐慌 ・軍部の台頭とテロ事件の多発	3	・大正デモクラシーを考察させる。 ・震災の状況と復興を考察させる。 ・経済・社会の動向を考察させる。 ・軍部台頭の背景を考察させる。	提出物	●						●		
					定期考査	●	●	●	●					
昭和Ⅰ	・日中戦争と新体制運動 ・太平洋戦争 ・新生日本のスタート	3	・太平洋戦争への過程を考察させる。 ・戦争の展開と被害を考察させる。 ・戦後の改革を考察させる。	提出物	●						●			
				定期考査	●	●	●	●						
2学期評定														
	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準（到達目標）		評価方法		関	思	技	知		
主な学習内容と授業時数	3学期（9週）	昭和Ⅱ	・憲法の制定と東京都の出発 ・講和と安保条約 ・独立後の政治と平和の動き	3	・日本国憲法と戦後の国民生活を考察させる。 ・戦後復興への道程を考察させる。 ・冷戦と国内の動向を考察させる。	提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				
		昭和～平成	・保守政権の安定と外交 ・高度経済成長とそのひずみ ・現代の生活文化	4	・国内政治の安定と中国との国交正常化について考察させる。 ・高度経済成長の影響を考察させる。 ・人口集中と流通革命を考察させる。	提出物	●						●	
						定期考査	●	●	●	●				
		平成Ⅱ	・バブル景気と社会の動揺 ・国際都市 東京	2	・産業構造の転換とバブル景気、社会不安の広がりを考察させる。 ・現代の日本と東京を考察させる。	提出物	●					●		
						定期考査	●	●	●	●				
	3学期評定													
	年間評定													

教科	数学	科目名	数学Ⅱ		対象学年	2学年	単位数	3単位	観点別評価					
使用教科書	改訂版 数学Ⅱ (数研出版)				教科担当	A組：増田 達哉・山口 尚行・浮葉 翔 B組：増田 達哉・山口 尚行・浮葉 翔 C組：増田 達哉・山口 尚行			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
補助教材	NEW ACTION LEGEND 数学Ⅱ+B (東京書籍) NEW ACTION LEGEND 数学Ⅲ (東京書籍)													
	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準 (到達目標)		評価方法							
主な学習内容と授業時数	1学期 (13週)	三角関数	加法定理	8	・加法定理を2点間の距離の公式を用いて証明できる。 ・2倍角を利用して、三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。	課題	●	●	●	●				
						単元テスト	●		●	●				
						定期考査		●	●	●				
		指数関数と対数関数	指数関数と対数関数	11	・底と1の大小関係に注意して、指数関数を含む方程式や不等式を解くことができる。 ・底と1の大小関係に注意して、対数関数を含む方程式や不等式を解くことができる。	課題	●	●	●	●				
						単元テスト	●		●	●				
						定期考査		●	●	●				
		微分法と積分法	微分係数	3	・平均変化率、微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる。 ・微分係数の図形的意味を理解している。	課題	●	●	●	●				
						単元テスト	●		●	●				
						定期考査		●	●	●				
			導関数	3	・定義に基づいて導関数を求めることができる。 ・微分係数の値などから関数を決定することができる。	課題	●	●	●	●				
						単元テスト	●		●	●				
						定期考査		●	●	●				
			接線	3	・微分係数の図形的意味と、直線の方程式の公式から、接線の方程式の公式を考えることができる。 ・定点Cから曲線に接線を引くとき、接点Aにおける接線が点Cを通ると読み替えることができる。	課題	●	●	●	●				
						単元テスト	●		●	●				
						定期考査		●	●	●				
		関数の値の変化	3	・関数の増減や極値を調べるのに、増減表を用いて考察できる。 ・関数の極値から関数を決定する際に、必要十分条件に注意することができる。	課題	●	●	●	●					
					単元テスト	●		●	●					
					定期考査		●	●	●					
		最大値・最小値	4	・最大値と最小値、極大値と極小値の違いを、明確に意識して考察できる。 ・最大最小の問題では、変数のとり方、定義域に注意できる。	課題	●	●	●	●					
					単元テスト	●		●	●					
					定期考査		●	●	●					
		関数のグラフと方程式・不等式	4	・方程式や不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決できる。 ・導関数を利用して、方程式の実数解の個数問題、不等式の証明問題を解くことができる。	課題	●	●	●	●					
					単元テスト	●		●	●					
					定期考査		●	●	●					
		1学期評定												
			学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準 (到達目標)		評価方法		関	思	技	知
		主な学習内容と授業時数	2学期 (13週)	不定積分		4	・微分の逆演算として不定積分を考えることができる。 ・不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算ができる。	課題	●	●	●	●		
								単元テスト	●		●	●		
定期考査								●	●	●				
定積分				4	・定積分は定数であることを理解し、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。 ・上端が変数 x である定積分で表された関数を微分して処理することができる。	課題	●	●	●	●				
						単元テスト	●		●	●				
						定期考査		●	●	●				
面積				4	・上下関係が入れ替わる2曲線で囲まれた面積を求めることができる。 ・3次曲線とその接線で囲まれた部分の面積を求めることができる。	課題	●	●	●	●				
						単元テスト	●		●	●				
						定期考査		●	●	●				
総合問題	総合演習			27	発展的な内容を演習により行い、達成度を評価する。	課題	●	●	●	●				
						単元テスト	●		●	●				
						定期考査		●	●	●				
2学期評定														
3学期 (9週)	総合問題			総合演習	27	発展的な内容を演習により行い、達成度を評価する。	課題	●	●	●	●			
							単元テスト	●		●	●			
		定期考査					●	●	●					
	3学期評定													
年間評定														

令和4年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校

教科	数学	科目名	数学B		対象学年	2学年	単位数	3単位	観点別評価			
使用教科書	改訂版 数学B (数研出版)				教科担当	A組：鳥谷部 光 B組：増田 達哉 C組：鳥谷部 光			●	●	●	●
補助教材	NEW ACTION LEGEND 数学II+B (東京書籍) リンク 数学演習I A・II B (数研出版)											
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準 (到達目標)	評価方法			●	●	●	●	
主な学習内容と授業時数	1学期 (13週)	確率分布と統計的な推測	<ul style="list-style-type: none"> 確率変数と確率分布 確率変数の期待値と分散 確率変数の変換 確率変数の和と期待値 独立な確率変数と期待値・分散 	7	<ul style="list-style-type: none"> 確率変数及び確率分布について理解する。 確率変数の平均, 分散及び標準偏差を用いて確率分布の特徴を捉える。 	課題	●	●	●	●		
						単元テスト	●		●	●		
						定期考査		●	●	●		
		確率分布と統計的な推測	・二項分布	8	<ul style="list-style-type: none"> 二項分布について理解し, それを事象の考察に活用できる。 	課題	●	●	●	●		
						単元テスト	●		●	●		
	定期考査		●	●	●							
	確率分布と統計的な推測	・正規分布	8	<ul style="list-style-type: none"> 正規分布について理解する。 二項分布が正規分布で近似できることを知り, それらを事象の考察に活用する。 	課題	●	●	●	●			
					単元テスト	●		●	●			
	定期考査		●	●	●							
	確率分布と統計的な推測	・母集団と標本	8	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の考え方について理解する。 標本を用いて母集団の傾向を推測できることを知る。 	課題	●	●	●	●			
					単元テスト	●		●	●			
					定期考査		●	●	●			
	確率分布と統計的な推測	・統計的な推測の考え	8	<ul style="list-style-type: none"> 母平均の統計的な推測について理解し, それを事象の考察に活用する。 	課題	●	●	●	●			
単元テスト					●		●	●				
定期考査						●	●	●				
1学期評定								●	●	●	●	
2学期 (13週)	数列	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列とその和 等比数列とその和 	9	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列と等比数列について理解する。 等差数列と等比数列の一般項及び和を求める。 	課題	●	●	●	●			
					単元テスト	●		●	●			
					定期考査		●	●	●			
	数列	<ul style="list-style-type: none"> 和の記号 階差数列 いろいろな数列の和 	10	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな数列の一般項や和について, その求め方を理解し, 事象の考察に活用する。 	課題	●	●	●	●			
					単元テスト	●		●	●			
					定期考査		●	●	●			
	数列	・漸化式と数列	10	<ul style="list-style-type: none"> 漸化式について理解する。 簡単な漸化式で表された数列について, 一般項を求める。 漸化式を事象の考察に活用する。 	課題	●	●	●	●			
					単元テスト	●		●	●			
					定期考査		●	●	●			
	数列	・数学的帰納法	10	<ul style="list-style-type: none"> 数学的帰納法について理解する。 数学的帰納法を用いて簡単な命題を証明する。 数学的帰納法を事象の考察に活用する。 	課題	●	●	●	●			
					単元テスト	●		●	●			
					定期考査		●	●	●			
	2学期評定								●	●	●	●

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準（到達目標）	評価方法	関	思	技	知		
主な学習内容と授業時数	3学期（9週）	ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの演算 ベクトルの成分 	5	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル及びベクトルの成分表示について理解する。 	課題	●	●	●	●		
						単元テスト	●		●	●		
						定期考査		●	●	●		
		ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの内積 	6	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解する。 	課題	●	●	●	●		
						単元テスト	●		●	●		
						定期考査		●	●	●		
		ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 位置ベクトル ベクトルと図形 ベクトル方程式 	6	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルを平面図形の性質などの考察に活用する。 	課題	●	●	●	●		
						単元テスト	●		●	●		
						定期考査		●	●	●		
		ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> 空間の座標 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル ベクトルと図形 	10	<ul style="list-style-type: none"> 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを知る。 	課題	●	●	●	●		
						単元テスト	●		●	●		
						定期考査		●	●	●		
		3学期評定										
		年間評定										

令和4年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校

教科	理科	科目名	物理	対象学年	2年	単位数	4単位	観点別評価				
使用教科書	高等学校 改訂 物理 (第一学習社)			教科担当	A組: 吉田 高志 B組: 阿江 伸也 C組: 阿江 伸也			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
補助教材	セミナー 物理基礎+物理 (第一学習社)											
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準 (到達目標)			評価方法					
1 学期 (1 3 週)	平面運動と放物運動	平面運動 放物運動	7	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルを用いた位置や速度の表記の仕方を理解し、表記できる。 速度の合成、相対速度をベクトルを用いて計算できる。 加速度を用いて速度や位置の公式を導き、計算に利用できる。 自由落下、斜方投射など放物運動を理解し、計算できる。 	提出物	●	●		●			
					実験レポート	●	●	●				
					期末考査・小テスト		●		●			
	剛体のつりあい	剛体にはたらく力とその合力 剛体の重心とつりあい	15	<ul style="list-style-type: none"> 剛体は何かを理解し、力のモーメントを計算できる。 力のモーメントのつりあいと力のつりあいを利用して剛体にはたらく力を計算できる。 重心の位置を求め、計算に利用できる。 	提出物	●	●		●			
					実験レポート	●	●	●				
					期末考査・小テスト		●		●			
	運動量の保存	運動量と力積 運動量保存の法則 反発係数	16	<ul style="list-style-type: none"> 運動量と力積の概念を理解し、計算できる。 運動量が保存する場合を理解し、運動量保存の法則を計算に利用できる。 反発係数の概念を理解し、計算に利用できる。 	提出物	●	●		●			
					実験レポート	●	●	●				
					期末考査・小テスト		●		●			
	円運動	円運動 慣性力と遠心力	14	<ul style="list-style-type: none"> 円運動が力学的にどのような運動であるか理解し、半径・速度・周期などを計算できる。 慣性力がどのような状況で発生するかを理解し、運動方程式を用いて計算できる。 	提出物	●	●		●			
					実験レポート	●	●	●				
					期末考査・小テスト		●		●			
	1学期評定											
2 学期 (1 3 週)	夏期講習 気体の性質と分子の運動	気体の法則 気体の分子運動 気体の内部エネルギーと仕事		<ul style="list-style-type: none"> 気体のもつパラメータを理解し、計算に利用できる。 気体分子運動論を理解し、気体分子の運動から圧力や内部エネルギーを導出できる。 熱力学第一法則やP-V図を理解し、仕事や温度を計算できる。 	提出物	●	●		●			
					小テスト		●		●			
	単振動	単振動 万有引力による運動	16	<ul style="list-style-type: none"> 単振動を分析し、周期や速度を計算できる。 万有引力を理解し、運動方程式を用いて計算できる。 ケプラーの3法則を理解し、天体の運動を計算できる。 	提出物	●	●		●			
					実験レポート	●	●	●				
					期末考査・小テスト		●		●			
	波動	波の性質 音波 光波	26	<ul style="list-style-type: none"> 波の基本公式を理解し、波長や振動数を計算できる。 音波の持つ性質を理解し、ドップラー効果の公式を用いて振動数を計算できる。 光波の持つ性質を理解し、様々な状況の干渉現象を分析できる。 	提出物	●	●		●			
					実験レポート	●	●	●				
					期末考査・小テスト		●		●			
	電場と電位	電場 電位 コンデンサー	10	<ul style="list-style-type: none"> 電場と静電気力について理解し、それぞれ計算できる。 電位と電場の関係を理解し、計算できる。 電位と位置エネルギーを理解し、電場のする仕事を計算できる。 コンデンサーの構造を理解し、電気量や電気容量を計算できる。 	提出物	●	●		●			
					実験レポート	●	●	●				
					期末考査・小テスト		●		●			
	2学期評定											
3 学期 (9 週)	電流	電流と抵抗 直流回路 半導体	12	<ul style="list-style-type: none"> オームの法則とジュール熱、電力の計算公式を理解し、計算できる。 直列と並列の違いを理解し、電流や電位差を計算できる。 非直線抵抗の性質を理解し、かかる電圧と流れる電流を計算できる。 半導体のキャリアと電流の関係を理解し、ホール効果を理解している。 	提出物	●	●		●			
					実験レポート	●	●	●				
					期末考査・小テスト		●		●			
	電流と磁場	磁場 電流が磁場から受ける力 ローレンツ力	12	<ul style="list-style-type: none"> 電流が作る磁場を理解し、様々な場合において計算できる。 電流が磁場から受ける力を複数の方法で計算できる。 ローレンツ力を理解し、用いて、様々な電気現象を説明できる。 	提出物	●	●		●			
					実験レポート	●	●	●				
					期末考査・小テスト		●		●			
	電磁誘導と交流	電磁誘導 交流 電磁波	12	<ul style="list-style-type: none"> 電磁誘導を理解し、計算できる。 交流の発生を電磁誘導を用いて説明できる。 交流回路と各回路素子の特性を理解し、電流や電圧を計算できる。 電磁波の発生の仕組みを理解し、説明できる。 	提出物	●	●		●			
					実験レポート	●	●	●				
					期末考査・小テスト		●		●			
	3学期評定											
	年間評定											

令和4年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校

教科	理科	科目名	生物		対象学年	2年	単位数	4単位	観点別評価					
使用教科書	改定版 生物 (数研出版)				教科担当	A組: 吉岡 智春 B組: 吉岡 智春 C組: 吉岡 智春			●	●	●	●		
補助教材	スクエア最新図説生物 (第一学習社) リードLightノート生物 (数研出版) セミナー生物基礎+生物 (第一学習社)													
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準 (到達目標)	評価方法									
1 学 期 (1 3 週)	生命現象と物質	生体を構成する物質/タンパク質の構造と性質/酵素のはたらき/細胞の構造	16	細胞における物質運搬・酵素の働き・免疫・細胞間結合の仕組みを理解する。	提出物・実験レポート	●	●	●	●					
					期末考査・確認テスト		●	●	●					
					授業態度	●								
	生命現象と物質 代謝	物質輸送とタンパク質/情報伝達・認識とタンパク質/代謝とエネルギー/呼吸と発酵	18	細胞における物質運搬・酵素の働き・免疫・細胞間結合の仕組みを理解する。	提出物・実験レポート	●	●	●	●					
					期末考査・確認テスト		●	●	●					
					授業態度	●								
	代謝 遺伝情報の発現	光合成/窒素同化/DNAの構造と複製/遺伝情報の発現	18	代謝の主な反応経路について、酵素やエネルギーとの関りから理解する。DNAの構造、複製について理解する。	提出物・実験レポート	●	●	●	●					
					期末考査・確認テスト		●	●	●					
					授業態度	●								
1学期評定														
2 学 期 (1 3 週)	遺伝情報の発現 生殖と発生	バイオテクノロジー/遺伝子と染色体/減数分裂と遺伝情報の分配/遺伝子の多様な組み合わせ/動物の配偶子形成と受精	8	バイオテクノロジーの手法と課題について理解する。遺伝的多様性の仕組みを理解し、動物の発生の仕組みと遺伝子の関りを理解する。	提出物・実験レポート	●	●	●	●					
					期末考査・確認テスト		●	●	●					
					授業態度	●								
	生殖と発生	初期発生の過程/細胞の分化と形態形成/植物の配偶子形成と発生	12	植物発生のしくみ、遺伝子の関りを理解する。環境からの情報感知、応答する仕組みを理解する。	提出物・実験レポート	●	●	●	●					
					期末考査・確認テスト		●	●	●					
					授業態度	●								
	生物の環境応答	ニューロンとその興奮/刺激の受容/情報の統合/情報への反応/動物の行動	16	動物の情報感知、応答の仕組みをニューロンや筋肉の働きを中心に理解する。	提出物・実験レポート	●	●	●	●					
					期末考査・確認テスト		●	●	●					
					授業態度	●								
	生物の環境応答	植物の生活と環境応答/発芽の調節/成長の調節	16	植物の情報感知、応答の仕組みをホルモンや受容体の働きを中心に理解する。	提出物・実験レポート	●	●	●	●					
					期末考査・確認テスト		●	●	●					
					授業態度	●								
2学期評定														
3 学 期 (9 週)	植物の環境応答 生物と環境	環境の変化に対する応答/花芽形成・結実の調節/生物群集と生態系/個体群/個体群内の個体間の関係/異種個体群間の関係	12	個体群の動態を、個体群内や個体群間の相互作用から理解する。生物群集の成り立ちと、環境形成作用を理解する。	提出物・実験レポート	●	●	●	●					
					期末考査・確認テスト		●	●	●					
					授業態度	●								
	生物と環境 生物の進化と系統	生物群集/生態系内における物質生産/生態系と生物多様性/生命の起源と初期の生物の変遷/多細胞生物の変遷	16	地球環境と遺伝子突然変異の関係から進化の仕組みと歴史を理解する。	提出物・実験レポート	●	●	●	●					
					期末考査・確認テスト		●	●	●					
					授業態度	●								
	生物の進化と系統	進化のしくみ/生物の系統/生物の多様性	8	3ドメイン説と5界説における系統関係を理解し、分類法を理解する。	提出物・実験レポート	●	●	●	●					
					期末考査・確認テスト		●	●	●					
					授業態度	●								
	3学期評定													
	年間評定													

教科	理科	科目名	化学基礎		対象学年	2年	単位数	2単位	観点別評価					
使用教科書	化学基礎 新訂版(実教出版)				教科担当	A組：伊藤 邦朗 B組：吉田 敦 C組：伊藤 邦朗			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
補助教材	スクエア最新図説化学(第一学習社) リードα化学基礎(数研出版)													
	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準(到達目標)		評価方法							
主な学習内容と授業時数	1学期(13週)	化学と人間生活	化学と人間生活	1	<ul style="list-style-type: none"> 化学と人間生活における役割について関心を示し、理解しようとする。 化学の成果が人間生活の向上に果たした役割を、具体例を踏まえて考察できる。 自然界のしくみには、基本的な概念・原理・法則があることを理解できる。 	提出物	●	●	●					
						<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●					
		物質の構成 物質の探究	物質の種類と性質 物質と元素 物質の三態と熱運動(実験)混合物の分離(実験)硫黄の同素体	5	<ul style="list-style-type: none"> 物質の状態変化は、構成粒子の分子運動に関係し、それが温度や圧力によるものであることを論理的、総合的に判断できる。 分子運動と物質の三態との関係から、代表的な物質について、常温、常圧での状態を理解し、知識として身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●				
						<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●				
		物質の構成粒子	原子の構成 イオンの生成 周期表	4	<ul style="list-style-type: none"> 原子は原子核と電子からなっていて、電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを推論できる。 周期表から大まかな性質が判断できる。 物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●				
						<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●				
		物質と化学結合 イオン結合	イオン結合 イオン結晶	4	<ul style="list-style-type: none"> 物質の性質は、結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。 イオンからなる物質の特徴を、代表的な物質から具体的に理解し、知識を身につけている。 物質は結合の違いによって区別できることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●				
					<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●					
	共有結合と分子間力	共有結合と分子間力 共有結合からなる物質	4	<ul style="list-style-type: none"> 物質の性質は、結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。 分子の成り立ちと特徴を、代表的な物質から具体的に理解し、知識を身につけている。 物質は結合の違いによって区別できることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●					
					<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●					
	金属結合	金属結合 金属	4	<ul style="list-style-type: none"> 物質の性質は、結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。 金属結合の特徴を、代表的な物質から具体的に理解し、知識を身につけている。 物質は結合の違いによって区別できることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●					
					<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●					
	化学結合と物質	物質の分類 金属結合からなる物質とその利用 イオン結合からなる物質とその利用 共有結合からなる物質とその利用	4	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの結合とその結晶について、正確に区別し探究しようとする。 身近な物質について、結合によって区別し、性質や利用例を日常の事象と関連付けて探究しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●					
					<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●					
	1学期評定													
	2学期(13週)	物質の変化 物質と化学反応式	原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応式 基本法則に関連した化学史(実験)化学反応の量的関係	14	<ul style="list-style-type: none"> 原子量・分子量・式量と物質質量の定義を理解し、物質質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。また、物質質量と溶液の濃度の関係を考察できる。 表や図のデータなどから物質の性質を分析できる能力を身につけ、観察、実験の過程や結果および数的な処理から、自ら考えを導き出したり、実験報告書を作成したり、発表したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●				
						<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●				
		酸と塩基	酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩 中和滴定 (実験)中和滴定	12	<ul style="list-style-type: none"> 酸・塩基の観察、実験をもとに共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を考察できる。 酸・塩基の強弱とpHの観察、実験などを通し、科学的に考察できる。また、酸・塩基の中和反応についても考察できる。 ここでの特別な実験器具の取り扱いができると同時に、酸・塩基の量的関係から濃度未知の酸や塩基の濃度を求める技能を修得している。 酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を捉えることができ、さらに中和滴定の量的関係を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●				
					<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●					
	2学期評定													
	3学期(9週)	酸化還元反応	酸化と還元 酸化剤と還元剤 酸化還元反応の起こりやすさ 身の回りの酸化還元反応(実験)酸化還元反応(実験)酸化還元滴定	18	<ul style="list-style-type: none"> 様々な観察、実験を通し、酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し、共通性を見出し、酸化還元反応として論理的に考察できる。 代表的な酸化剤、還元剤の観察、実験の報告書を作成する中で、電子の授受としての規則性を見出し、自らの考えで表現することができる。 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を理解し、知識を身につけている。 金属のイオン化傾向とそれによる反応性の違いを理解し、身近に酸化還元反応が利用されていることを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●				
					<ul style="list-style-type: none"> 提出物・小テスト 期末考査 	●	●	●	●					
3学期評定														
年間評定														

令和4年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校

教科	理科	科目名	地学基礎		対象学年	2年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書	地学基礎（啓林館）				教科担当	B組：宮澤 良美 C組：宮澤 良美			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
補助教材	スクエア最新地学図説(第一学習社) Navi&トレーニング地学基礎（啓林館）											
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準（到達目標）	評価方法							
主な学習内容と授業時数	1学期（13週）	固体地球とその変動	地球の概観 地球の内部構造	12	・地球の形・大きさについて理解し、説明できる。 ・地球内部の特徴について理解し、説明できる。	授業態度	●					
						提出物	●	●	●	●		
						期末考査・小テスト		●	●	●		
	1学期（13週）	固体地球とその変動	プレートと地球の活動 地震 火山活動と火成岩の形成	14	・プレートテクトニクス理論について理解し、説明できる。 ・地震のしくみにいて理解し、計算できる。 ・火成岩及び鉱物の特徴を捉え、識別できる。 ・地球内部の特徴について理解し、説明できる。	授業態度	●					
						提出物	●	●	●	●		
						期末考査・小テスト		●	●	●		
	1学期評定											
	2学期（13週）	移り変わる地球	堆積岩とその形成 地質と地質構造 地球の歴史の区分と化石 先カンブリア時代 顕生代	14	・堆積岩・変成岩の形成を理解し、説明できる。 ・地質図の読み取りと作成ができる。 ・地球の歴史について、化石を中心に組み立てることができる。	授業態度	●					
						提出物	●	●	●	●		
						期末考査・小テスト		●	●	●		
	2学期（13週）	大気と海洋	大気・海水の循環 太陽放射と大気・海水の運動 日本でみられる季節の気象	12	・大気・海水の循環について理解し、説明できる。 ・天気図が読め、作成できる。	授業態度	●					
						提出物	●	●	●	●		
期末考査・小テスト							●	●	●			
2学期評定												
3学期（9週）	宇宙の構成	太陽と太陽系 恒星としての太陽の進化 銀河系と宇宙	12	・恒星の進化について理解し、計算ができる。 ・宇宙の構造について理解し、説明ができる。	授業態度	●						
					提出物	●	●	●	●			
					期末考査・小テスト		●	●	●			
3学期（9週）	自然との共生	地球環境と人類 日本の自然災害と防災 人間生活と地球環境の変化	6	地学で学んだ自然現象と我々の生活が密接に関わっていることを理解し、説明できる。	授業態度	●						
					提出物	●	●	●	●			
					期末考査・小テスト		●	●	●			
3学期評定												
年間評定												

教科	保健体育	科目名	体育	対象学年	2年	単位数	2単位	観点別評価				
使用教科書	最新高等保健体育改訂版（大修館）			教科担当	A組：中島 由香里・半谷 亮介・宋 強賢・長 明日香 B組：中島 由香里・半谷 亮介・宋 強賢・長 明日香 C組：中島 由香里・半谷 亮介・宋 強賢・長 明日香			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
補助教材	なし											
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準（到達目標）			評価方法					
主な学習内容と授業時数	1学期（1週）	球技 格技 陸上競技	・ハンドボール・バレーボール ・テニス・ソフトボール ・柔道・剣道 ・陸上…4種競技	8	・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。			提出物	●	●		●
								実技試験	●	●	●	●
								授業態度	●			
				10				提出物	●	●		●
								実技試験	●	●	●	●
								授業態度	●			
	3週	水泳	クロール・平泳・背泳・バタフライ	8	・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。			提出物	●	●		●
								実技試験	●	●	●	●
								授業態度	●			
	1学期評定											
	2学期（1週）	球技	テニス・ハンドボール・バレーボール・バスケットボール・ユニホック	7	・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。			提出物	●	●		●
								実技試験	●	●	●	●
								授業態度	●			
				7				提出物	●	●		●
								実技試験	●	●	●	●
授業態度								●				
球技 格技 器械体操		テニス・サッカー 柔道・剣道 マット運動	6	・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする、健康・安全に気を配ったりしている。			提出物	●	●		●	
							実技試験	●	●	●	●	
							授業態度	●				
							6	提出物	●	●		●
								実技試験	●	●	●	●
								授業態度	●			
2学期評定												
3学期（9週）	球技 格技 器械体操	テニス・サッカー 柔道・剣道 創作ダンス	6	・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとする、健康・安全に気を配ったりしている。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、健康・安全を確保したりしている。			提出物	●	●		●	
							実技試験	●	●	●	●	
							授業態度	●				
			6				提出物	●	●		●	
							実技試験	●	●	●	●	
							授業態度	●				
	6	提出物	●	●		●						
		実技試験	●	●	●	●						
		授業態度	●									
	3学期評定											
	年間評定											

令和4年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校

教科	保健体育	科目名	保健	対象学年	2年	単位数	1単位	観点別評価				
使用教科書	最新高等保健体育改訂版（大修館）			教科担当	A組：宋 強賢 B組：宋 強賢 C組：宋 強賢	●	●	●	●	●	●	●
補助教材	なし				●							
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準（到達目標）	評価方法	関	思	技	知			
1 学 期 （ 1 3 週）	オリエンテーション	ガイダンス	1	1年間の予定について理解できたか	定期考査					●		
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	生涯を通じる健康	思春期と健康	1	思春期における体の変化について説明している。 思春期の心の発達にかかわる健康課題を理解している。	定期考査					●		
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	生涯を通じる健康	性への関心・欲求と性行動	1	性意識の男女差を具体的にあげて説明している。 性情報や性行動の選択に影響を及ぼす例をあげて説明している。	定期考査					●		
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	生涯を通じる健康	妊娠・出産と健康	2	妊娠・出産の過程における健康課題について理解している。 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげて説明している。	定期考査					●		
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	生涯を通じる健康	避妊方法と人工妊娠中絶	2	家庭計画の意義と適切な避妊法について理解している。 人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解している。	定期考査					●		
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	生涯を通じる健康	結婚生活と健康	1	心身の発達と健康生活の関係について説明している。 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげている。	定期考査					●		
ノート					●	●	●	●				
グループワーク					●	●	●	●				
生涯を通じる健康	中高年期と健康	1	歳をとることに伴う心身の変化には、どのようなものがあるか説明できる。 中高年期を健康かに過ごすための社会的な取り組みについて理解している。	定期考査					●			
				ノート	●	●	●	●				
				グループワーク	●	●	●	●				
生涯を通じる健康	医薬品とその活用	2	医薬品の正しい使用法について説明している。 医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明している。	定期考査					●			
				ノート	●	●	●	●				
				グループワーク	●	●	●	●				
生涯を通じる健康	医療サービスとその活用	1	さまざまな医療機関の役割について説明している。 医療サービスを受けるときの留意点を上げることができている。	定期考査					●			
				ノート	●	●	●	●				
				グループワーク	●	●	●	●				
生涯を通じる健康	保健サービスとその活用	1	保健行政の役割について例をあげて説明している。 保険サービスの活用の例をあげている。	定期考査					●			
				ノート	●	●	●	●				
				グループワーク	●	●	●	●				
1学期評定												
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準（到達目標）	評価方法	関	思	技	知			
2 学 期 （ 1 3 週）	生涯を通じる健康	さまざまな保健活動や対策	1	民間機関、国際機関などの保健活動や対策について、例をあげて説明している。	定期考査					●		
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	社会生活と健康	大気汚染と健康	1	大気汚染の原因と健康影響を理解している。 地球規模の環境問題について、例をあげて説明している。	定期考査					●		
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	社会生活と健康	水質汚濁・土壌汚染と健康	1	水質汚濁の原因とその健康影響を説明している。 土壌汚染の原因とその健康影響を説明している。	定期考査					●		
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	社会生活と健康	環境汚染を防ぐ取り組み	2	こまにちの環境汚染の特徴について説明している。 環境汚染を防ぐためのさまざまな取り組みについて例をあげて説明している。	定期考査					●		
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	社会生活と健康	ごみの処理と上下水道の整備	1	ごみの処理の現状や、その課題について理解している。 安全で質の良い水を確保するための仕組みについて理解している。	定期考査					●		
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	社会生活と健康	食品の安全を守る活動	2	行政や生産、製造者による食品の安全のための対策について例をあげて説明している。 食品の安全のため、私たち消費者が行うべきことを例をあげて説明している。	定期考査					●		
ノート					●	●	●	●				
グループワーク					●	●	●	●				
社会生活と健康	働くことと健康	1	働く人の健康問題がどのように変化してきたか理解している。 労働災害の防止方について説明している。	定期考査					●			
				ノート	●	●	●	●				
				グループワーク	●	●	●	●				
社会生活と健康	働く人の健康づくり	1	職場が行う健康増進策について例をあげて説明している。 余暇の大切さと活用の仕方について理解している。	定期考査					●			
				ノート	●	●	●	●				
				グループワーク	●	●	●	●				
運動・スポーツの文化的特徴	人間にとって「動く」とは何か	1	人間にとって体を動かすことがどのような意味をもつのか理解している。 人間とほかの動物との違いを体の動きという観点から説明している。	発表	●	●						
				ノート	●	●	●	●				
				グループワーク	●	●	●	●				
運動・スポーツの文化的特徴	スポーツの始まりと変遷	2	スポーツがどのように始まり、どのようにして発展したのか理解している。 近代スポーツと国際スポーツの違いを理解している。	発表	●	●						
				ノート	●	●	●	●				
				グループワーク	●	●	●	●				
2学期評定												
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準（到達目標）	評価方法	関	思	技	知			
3 学 期 （ 9 週）	運動・スポーツの文化的特徴	スポーツ文化の楽しみ方	1	スポーツ文化の内容について説明している。 スポーツ文化に対してどのような関わり方があるのか例をあげて説明している。	発表	●	●					
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	運動・スポーツの文化的特徴	オリンピックと国際理解	1	オリンピックとオリンピックムーブメントを説明している。 オリンピックがどのようにして変化してきたのか理解している。	発表	●	●					
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	運動・スポーツの文化的特徴	スポーツと経済	1	スポーツが経済に及ぼす影響を説明している。 スポーツ産業におけるさまざまな職業をあげている。	発表	●	●					
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	運動・スポーツの文化的特徴	ドーピングとスポーツ倫理	1	なぜ、選手がドーピングに手を出してしまうのかを説明している。 スポーツ倫理が求められる理由について説明している。	発表	●	●					
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	運動・スポーツの学び方	スポーツの技術と技能	1	技術と技能の違いや技能の発達の仕方を説明できている。 クロススキルとオープンスキルの違いを理解している。	発表	●	●					
					ノート	●	●	●	●			
					グループワーク	●	●	●	●			
	運動・スポーツの学び方	技能の上達過程と練習	1	技能がどのようなステップを経て上達するのかを説明している。 練習によって技能が上達するどのような特徴がみられるかをあげている。	発表	●	●					
ノート					●	●	●	●				
グループワーク					●	●	●	●				
運動・スポーツの学び方	技能と体力	1	技能と体力の関係について説明している。 技能や体力を高めるときに気をつけるべき点をあげている。	発表	●	●						
				ノート	●	●	●	●				
				グループワーク	●	●	●	●				
運動・スポーツの学び方	体力トレーニング	1	目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を説明している。 筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的な方法をあげている。	発表	●	●						
				ノート	●	●	●	●				
				グループワーク	●	●	●	●				
運動・スポーツの学び方	運動・スポーツにおける安全の確保	1	運動やスポーツ活動中のどんなときに怪我が起こっているのかを説明している。 気象条件や自然環境の変化に伴って考えられる危険をあげている。	発表	●	●						
				ノート	●	●	●	●				
				グループワーク	●	●	●	●				
3学期評定												
年間評定												

令和3年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校

教科	外国語(英語)	科目名	英語コミュニケーションⅡ		対象学年	2年	単位数	4単位	観点別評価			
使用教科書	Revised Element English CommunicationⅡ(桐原書店)				教科担当	A組:羽立 朋代 B組:羽立 朋代 C組:羽立 朋代			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
補助教材	予習ノート(桐原書店)、ワークブック(桐原書店)、リスニング教材、速読教材、解体英熟語(Z会出版)、演習問題集、オリジナル動画教材											
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準(到達目標)	評価方法							
1学期 (13週)	Lesson 1 Beyond Words 英文導入	非音声的言語とは何か、非音声的言語の種類、非音声的言語が文化によって異なることを理解する。文化によって異なる非音声的言語について書く。	12	4技能をバランスよく習得している。 ・Summary ・Retelling ・Listening ・Writing ・Reading ・Speaking	提出物	●	●	●	●			
					確認テスト・実技試験		●	●	●			
					授業態度	●						
	Lesson 2 Stay Hungry, Stay Foolish 和文英訳	ジョブズが大学を辞めて得た教訓、会社を解雇されて得た教訓、病気になるって得た教訓を理解する。携帯音楽プレーヤーの購入基準について書く。	12	4技能をバランスよく習得している。 ・Summary ・Retelling ・Listening ・Writing ・Reading ・Speaking	提出物	●	●	●	●			
					確認テスト・実技試験		●	●	●			
					授業態度	●						
	Lesson 3 A Teenager to Change the World 英作文(短文)実践	ジャックが研究を始めた経緯、研究におけるジャックの苦勞、ジャックが成功した理由について理解する。世界を変えるために何ができるかについて書く。	13	4技能をバランスよく習得している。 ・Summary ・Retelling ・Listening ・Writing ・Reading ・Speaking	提出物	●	●	●	●			
					確認テスト・実技試験		●	●	●			
					授業態度	●						
	1学期期末考査				1	期末考査		●				
Lesson 4 Life in a Jar パラグラフィティング導入	イレナがユダヤ人のために行ったこと、イレナが警察につかまってから解放されるまでの経緯、イレナの後悔について理解する。自分がイレナだったらどうするかについて書く。	12	4技能をバランスよく習得している。 ・Summary ・Retelling ・Listening ・Writing ・Reading ・Speaking	提出物	●	●	●	●				
				確認テスト・実技試験		●	●	●				
				授業態度	●							
Review	Lesson 1~4の復習		2	まとめ Presentation 文法・語法の復習	確認テスト・実技試験	●	●	●	●			
1学期評定												
2学期 (13週)	Lesson 5 Space Debris パラグラフィティング実践	宇宙ごみとは何か、宇宙ごみが引き起こす問題、その解決のための取り組みについて理解する。宇宙探査に資金を費やすべきか、議論する。	12	4技能をバランスよく習得している。 ・Summary ・Retelling ・Listening ・Writing ・Reading ・Speaking	提出物	●	●	●	●			
					確認テスト・実技試験		●	●	●			
					授業態度	●						
	Lesson 6 Caddy for Life エッセイ導入	ブルースとワトソンの関係、彼らの別離と再会、ブルースの病氣と、病氣に対してどのように立ち向かったかについて理解する。日米での好きなスポーツの違いについて議論する。	12	4技能をバランスよく習得している。 ・Summary ・Retelling ・Listening ・Writing ・Reading ・Speaking	提出物	●	●	●	●			
					確認テスト・実技試験		●	●	●			
					授業態度	●						
	Lesson 7 iPS Cells エッセイ実践	山中博士がiPS細胞の研究を始めた経緯、iPS細胞でどのような問題が解決するか、激化する再生医療分野での競争について理解する。有名な日本人研究者について意見を交換する。	12	4技能をバランスよく習得している。 ・Summary ・Retelling ・Listening ・Writing ・Reading ・Speaking	提出物	●	●	●	●			
					確認テスト・実技試験		●	●	●			
					授業態度	●						
	Lesson 8 Selective Breeding エッセイディベート	犬と人間とのかかわり、犬の品種改良の利点、犬の品種改良の欠点について理解する。品種改良の是非について議論する。	12	4技能をバランスよく習得している。 ・Summary ・Retelling ・Listening ・Writing ・Reading ・Speaking	提出物	●	●	●	●			
期末考査・実技試験						●	●	●				
授業態度					●							
2学期期末考査				1	期末考査		●					
Review	Lesson 1~4の復習		3	まとめ Presentation 文法・語法の復習	確認テスト・実技試験	●	●	●	●			
2学期評定												
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準(到達目標)	評価方法	関	思	技	知			
3学期 (9週)	Lesson 9 The Vancouver Asahi 自由英作文(フルエッセイ)	朝日が結成された当時の日系の状況、チームを立て直すために朝日が行ったこと、朝日のプレーによって何が変わったかについて、戦争によって朝日がどうなったか、戦後どのように評価されたかを理解する。海外出身の選手が直面する問題について議論する。	14	4技能をバランスよく習得している。 ・Summary ・Retelling ・Listening ・Writing ・Reading ・Speaking	提出物	●	●	●	●			
					確認テスト・実技試験		●	●	●			
					授業態度	●						
	Lesson 10 Euglena 自由英作文(Virtual Trip Blog)	ミドリムシとはどのような生物か、またどのような利用法があるか、出雲さんがミドリムシ研究を始め、成功するまでの経緯、現在どのような目的でミドリムシが研究されているかを理解する。日本が温暖化ガスの排出を減らすためにできることについて議論する。	14	4技能をバランスよく習得している。 ・Summary ・Retelling ・Listening ・Writing ・Reading ・Speaking	提出物	●	●	●	●			
					確認テスト・実技試験		●	●	●			
					授業態度	●						
	3学期期末考査				1	期末考査		●				
	総まとめ 自由英作文(過去問演習) Advanced Self-introduction	過去問演習	7	4技能をバランスよく習得している。 ・Summary ・Retelling ・Listening ・Writing ・Reading ・Speaking	提出物	●	●	●	●			
					確認テスト・実技試験		●	●	●			
					授業態度	●						
3学期評定												
年間評定												

教科	外国語(英語)	科目名	論理・表現Ⅱ	対象学年	2年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書	EMPOWERⅡ ENGLISH EXPRESSIONⅡ MASTERY COURSE (桐原書店)			教科担当	A組: 上田 みつ子・藤澤 文洋 B組: 上田 みつ子・藤澤 文洋 C組: 上田 みつ子・藤澤 文洋			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
補助教材	EMPOWERⅡ ENGLISH EXPRESSIONⅡ MASTERY COURSE Workbook (桐原書店) 標準 英文法・語法1000 (いっずな書店) Change the World (いっずな書店) システム英単語 5訂版 (駿台文庫) 英語の構文150 (美誠社)										
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準(到達目標)			評価方法				
主な学習内容と授業時数	1学期(13週)	Lesson1 Let me introduce myself 英文法・語法1000 L1~2	・文の構造 (SV, SVC, SVO, SVOC) / There is[are]~ ・動詞の語法(1)(2) ・スピーチ(ALTとTT)	5	・自分について英語で語ることができる。 ・動詞の語法の用法について理解する。 ・自分の夢について英語でスピーチすることができる。	確認テスト スピーチ 授業態度	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
		Lesson2 A trip to Okinawa Lesson3 Cherry blossom viewing from a boat 英文法・語法1000 L3~4	・SVOC (C:動詞の原形・現在分詞・過去分詞) ・日本語で表されない主語天候・時間・距離を表すit/形式主語のit ・時制、態、助動詞 ・スピーチ(ALTとTT)	7	・英語で日記を書くことができる。 ・自分の体験を英語でブログに書くことができる。 ・時制、態、助動詞の用法について理解する。 ・ALTが設定したトピックについて英語でスピーチすることができる。	確認テスト スピーチ 授業態度	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
		Lesson4 Active aging Lesson5 Interesting restaurants and foods:Thai dishes 英文法・語法 L5~6	・否定の主語/無生物主語 ・現在形・現在進行形/過去形・過去進行形 ・仮定法、不定詞、動名詞 ・スピーチ(ALTとTT)	7	・ニュースの感想を英語で述べるができる。 ・SNSに英語で投稿することができる。 ・仮定法、不定詞、動名詞の用法を理解する。 ・ALTが設定したトピックについて英語でスピーチすることができる。	確認テスト スピーチ 授業態度	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
		Lesson6 I'll introduce our classmates and teachers 英文法・語法 L7~9	・現在完了形・現在完了進行形/過去完了形・過去完了進行形 ・分詞、動詞を含むイディオム、形容詞の語法 スピーチ(ALTとTT)	7	・新聞記事を英語で書くことができる。 ・分詞、動詞を含むイディオム、形容詞の語法の用法を理解する。 ・ALTが設定したトピックについて英語でスピーチすることができる。	確認テスト スピーチ 授業態度	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
	1学期評定										
	2学期(13週)	Lesson7 Come and enjoy our school events! Lesson8 I'll apply for a homestay program 英文法・語法1000 L10~12	・未来を表す表現 (will/be going to/現在進行形/現在形/未来進行形) ・助動詞(義務・必要/許可/推量/過去の習慣など) ・副詞の語法、比較、形容詞・副詞を含むイディオム ・プレゼン(ALTとTT)	6	・告知文を英語で書くことができる。 ・問い合わせの手紙を英語で書くことができる。 ・副詞の語法、比較、形容詞・副詞を含むイディオムの用法を理解する。 ・ALTが設定したトピックについて英語でプレゼンすることができる。	確認テスト スピーチ 授業態度	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
		Lesson9 Visit a World Heritage Site! Lesson10 Think about you future careers 英文法・語法1000 L13~15	・受動態 ・不定詞(名詞的用法)/動名詞 ・冠詞と名詞の語法、代名詞の語法、名詞を含むイディオム ・スピーチ(ALTとTT)	7	・名所を英語で書くことができる。 ・メールを英語で書くことができる。 ・冠詞と名詞の語法、代名詞の語法、名詞を含むイディオムの用法を理解する。 ・ALTが設定したトピックについて英語でスピーチすることができる。	確認テスト スピーチ 授業態度	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
		Lesson11 Reading graphs and charts Lesson12 Get-well card t our teacher 英文法・語法1000 L16~18	・名詞節(that節/if節/wh節) ・名詞を修飾する語句 ・関係詞の用法、接続詞の用法、前置詞と群前置詞の用法を理解する。 ・プレゼン(ALTとTT)	7	・グラフを読み取って英語で書くことができる。 ・グリーティングカードを英語で書くことができる。 ・関係詞の用法、接続詞の用法、前置詞と群前置詞の用法を理解する。 ・ALTが設定したトピックについて英語でプレゼンすることができる。	確認テスト スピーチ 授業態度	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
		Lesson13 The book I would like to recommend Lesson14 Welcome to my hometown! 英文法・語法1000 L19~21	・関係代名詞・関係副詞(制限用法) ・関係代名詞・関係副詞(前置詞と関係代名詞/非制限用法) ・主語と動詞の一致、疑問文と語順、否定・強調・省略 ・スピーチ(ALTとTT)	6	・作品の紹介文を英語で書くことができる。 ・地域の紹介文を英語で書くことができる。 ・主語と動詞の一致、疑問文と語順、否定・強調・省略の用法を理解する。 ・ALTが設定したトピックについて英語でスピーチすることができる。	確認テスト スピーチ 授業態度	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
	2学期評定										
	3学期(9週)	Lesson15 Words have a magical power Lesson16 You should use smartphones and SNS wisely 英文法・語法1000 L22~23	・不定詞(副詞的用法)/分詞構文 ・副詞節(時、理由、条件、譲歩、程度・結果、目的など) ・時制の一致と話法、会話表現 ・プレゼン(ALTとTT)	6	・思い出深い体験を英語で書くことができる。 ・新聞に英語で投書することができる。 ・時制の一致と話法、会話表現の用法を理解する。 ・ALTが設定したトピックについて英語でプレゼンすることができる。	確認テスト スピーチ 授業態度	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
		Lesson17 Think about globalization Lesson18 Our town's special produce 英文法・語法1000 L1~3	・否定語/部分否定 ・比較(原級・比較・最上級) ・動詞の語法(1)(2)、時制 スピーチ	6	・自分の意見を英語で書くことができる。 ・広告文を英語で書くことができる。 ・動詞の語法、時制の用法を理解する。 ・ALTが設定したトピックについて英語でスピーチすることができる。	確認テスト スピーチ 授業態度	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
Lesson19 Join our hip-hop dance club Lesson20 To study abroad, or not to study abroad		・比較(様々な比較表現) ・仮定法過去/仮定法過去完了 ・態、助動詞、仮定法 ・プレゼン(ALTとTT)	6	・ウェブサイトの記事を書くことができる。 ・アドバイスを求めるメールを書くことができる。 ・態、助動詞、仮定法の用法を理解する。 ・ALTが設定したトピックについて英語でプレゼンすることができる。	確認テスト スピーチ 授業態度	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●		
3学期評定											
年間評定											

教科	探究	科目名	探究未来学		対象学年	2年	単位数	1単位	観点別評価			
使用教科書	なし				教科担当				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
補助教材	本校独自ワークシート											
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準（到達目標）	評価方法							
1 学期 (1 3 週)	富士未来学ガイダンス	探究未来学の内容を知る 探究に必要な力を学ぶ	1	探究の意義、挑戦力・理数的発見力・理数的解決力について理解できる。	ワークシート		●					
	質問紙講座Ⅱ	質問紙の作成方法を学ぶ	4	質問紙の作成方法を理解することができる。	ワークシート		●	●	●	●		
	統計分析講座	データを統計的に分析する方法を学ぶ	4	統計分析について理解し、表計算ソフト等を用いて活用することができる。	ワークシート		●	●	●	●		
	個人・グループ研究	昨年度に引き続き、ラボごとでの活動を行い、課題研究を行う	4	これまでの講座の成果を用いて、自身の設定した課題の研究をより深めることができる。	ワークシート		●	●	●	●		
	探究発表会	中間発表会でポスターを作成し発表したり、他学年の発表を聴き質問者として質問を行う	6	探究発表会で発表や質問を行うことができる。	ワークシート ポスター		●	●	●	●		
1学期評定												
2 学期 (1 3 週)	個人・グループ研究	昨年度に引き続き、ラボごとでの活動を行い、課題研究を行う 中間発表会の成果から今後の研究の改善を行う	1	これまでの講座の成果や発表会の質疑応答の成果を用いて、自身の設定した課題の研究をより深めることができる。	ワークシート		●	●	●	●		
	研究計画書講座	高校1年生と合同で行い、高校1年生の課題研究の計画に、自身の経験を活かして助言を行う	4	講座や課題研究を通してこれまで学んできたことから得た成果を通して、後輩の研究計画に助言を贈ることができる。	ワークシート		●	●	●	●		
	個人・グループ研究	各自が設定した研究課題をもとにラボごとに活動する	3	これまでの講座の成果や発表会の質疑応答の成果を用いて、自身の設定した課題の研究をより深めることができる。	ワークシート		●	●	●	●		
	アカデミック・ライティング講座Ⅰ	英語論文作成のための方法を学ぶ	4	論文作成に必要な英語の作文等の方法を理解し、作成をすることができる。	ワークシート		●	●	●	●		
2学期評定												
3 学期 (9 週)	個人・グループ研究	各自が設定した研究課題をもとにラボごとに活動する。	2	中間報告に向けて、発表ポスターを作成し、提出することができる。	ワークシート		●	●	●	●		
	ポスター発表	学年内でポスター発表を行う。その課題を改善したうえで、全学年で行う中間報告会での発表を行う。その結果をもとにポスターの改善を行い、次年度の研究の目標を定める。また、全学年での発表では質問者として後輩の研究への助言を送る。	2	ポスターを用いて発表ができる。聴衆からもらった質問をもとに自分の研究の改善点を発見することができる。後輩の課題研究の一助となる助言を送ることができる。	ワークシート ポスター等		●	●	●	●		
	3学期評定											
年間評定												

令和4年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校

教科	第二外国語	科目名	フランス語		対象学年	2年	単位数	2	観点別評価			
使用教科書	Jardin du français				教科担当	那波洋子			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
補助教材												
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準(到達目標)	評価方法							
1 学期 (13週)	Leçon 0 フランス語での挨拶と簡単な自己紹介	・フランスとフランス語への導入 ・フランス語での挨拶 ・簡単な自己紹介	5	・フランスに関する全般的な知識を持ち、フランス語圏の存在を知る ・日常的な挨拶ができる ・簡単な自己紹介ができる	単元毎のミニテスト	●	●	●	●			
	Leçon 1 自己紹介し合う	・国籍と職業の表現 ・être 動詞の主語による変化 ・主語の性数による国籍と職業の変化 ・名前を聞いたり、答える表現 ・フランス人の名前	5	・être 動詞を理解し運用できる ・主語の性・数による国籍と職業の変化の理解 ・フランス人の名前を知る	単元毎のミニテスト	●	●	●	●			
					会話の発表	●	●	●	●			
					授業態度	●						
	Leçon 2 カフェでの会話	・カフェに入ってから出るまでのウェイターとの会話 ・1~20までの数とユーロでの発音の繋がり ・不定冠詞 ・フランスのカフェと日本のカフェの違い	6	・カフェの入出時でのウェイターとの挨拶ができる ・飲み物・食べ物が注文でき、支払いができる	単元毎のミニテスト	●	●	●	●			
					会話の発表	●	●	●	●			
					授業態度	●						
	Leçon 3 友達を紹介する	・話す言語を言う表現 ・学んでいる事の表現 ・好みの表現 ・住んでいる所の表現 ・第一群規則動詞の規則性 ・不定冠詞 ・否定文	10	・第一群規則動詞の規則性についての理解と応用 ・不定冠詞の使い方の理解 ・否定文が自由に作れる	単元毎のミニテスト	●	●	●	●			
					会話の発表	●	●	●	●			
					授業態度	●						
	1 学期評定											
	2 学期 (13週)	現在のバリの生成について	現在のバリの生成についてDVDを見ながら考える	2	現在のバリがユネスコの世界遺産にしている要因について理解	質問と解答表の提出	●					●
Leçon 4 持ち物を言う・物を説明する		・日常で使う物の単語 ・物について聞き、答え、説明する ・avoir 動詞の変化 ・場所を表す前置詞 ・否定文と否定のde について理解する ・色々な疑問文の形を理解する	6	・日常的な単語の理解 ・物について尋ねたり、必要な説明ができる ・否定文のde について理解できる ・色々な疑問文の形で質問できる ・avoir 動詞の変化ができる	単元毎のミニテスト	●	●	●	●			
					会話の発表	●	●	●	●			
					授業態度	●	●	●	●			
Leçon 5 人について聞いたり、説明する		・人について聞き、答える ・年齢を聞き、答える ・どんな人が聞いたり、答える ・所有形容詞	6	・家族についての単語を理解 ・フランス語の所有形容詞の理解 ・100までの数を聞き取り、言える ・年齢を聞き、答えられる ・形容詞の主語の性数による変化の理解	単元毎のミニテスト	●	●	●	●			
					会話の発表	●	●	●	●			
					授業態度	●	●	●	●			
Leçon 6 食べる物、飲む物を言う		・食べる・飲むを表現する不規則動詞、manger, boire, prendre ・食べ物と飲み物の単語 ・部分冠詞 ・一日の食べ物、飲み物を言う ・フランスと日本の食文化の違い	6	・食べ物、飲み物の単語と部分冠詞を理解 ・不規則動詞manger, boire, prendre の変化の理解 ・朝食、昼食、夕食の食べる物を言える ・フランスと日本の食文化の違いについての理解	単元毎のミニテスト	●	●	●	●			
					会話の発表	●	●	●	●			
					授業態度	●						
Leçon 7 行き先を聞いたり、説明する		・動詞aller, venir の活用 ・前置詞à, de の場所の性数による変化 ・行きたい場所を聞いたり、説明する ・移動手段について ・時間の表現	6	・動詞 aller, venir と前置詞の変化の理解 ・行き先の質問と説明ができる ・移動手段の理解 ・時間を聞いたり、答えられる	単元毎のミニテスト	●	●	●	●			
					会話の発表	●	●	●	●			
	授業態度				●							
2 学期評定												
3 学期 (9週)	Leçon 8 行きたい場所を聞く	・行きたい場所を聞いたり、道順を説明する ・命令形 ・非人称表現 (義務の表現、天気表現) ・場所を表す中性代名詞	6	・行きたい場所を聞いたり、道順の説明ができる ・天気や義務の非人称表現ができる ・中性代名詞 y を使って言い換えられる	単元毎のミニテスト	●	●	●	●			
	Leçon 9 日程について話す	・曜日、日付を聞いたり、答える ・～を終える finir の表現と第2群規則動詞 ・数量を聞いたり、中性代名詞 en を用いて答える ・感想や印象を言う表現	6	・曜日や日付を聞いたり、答えられる ・第2群規則動詞の規則性を理解する ・数量を聞いたり、中性代名詞 en を用いて答えられる ・物事についての感想や印象を表現できる	単元毎のミニテスト	●	●	●	●			
					会話の発表	●	●	●	●			
					授業態度	●						
	Leçon 10 これからする事、したばかりの事を言う	・近接未来の表現 ・近接過去の表現 ・動詞faire の表現 ・動詞pouvoir の表現 ・理由を聞いたり、説明する	6	・近接未来、近接過去の表現ができる ・動詞 faire の表現ができる ・動詞 pouvoir の表現ができる ・理由を聞いたり、答えられる	単元毎のミニテスト	●	●	●	●			
					会話の発表	●	●	●	●			
					授業態度	●						
	3 学期評定											
	年間評定											

主な学習内容と授業時数

教科	第二外国語	科目名	中国語		対象学年	2年	単位数	2	観点別評価				
使用教科書	使用教材				教科担当	大平 艶子			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
補助教材	高校版 中国語はじめの一步												
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準(到達目標)		評価方法							
主な学習内容と授業時数	1 学期 (1 3 週)	発音	・中国語の特徴 ・発音・簡体字	6	中国語の挨拶、授業で使う表現が話せる四声を発音できる		確認テスト エッセイ 授業態度	●		●	●		
		第一課 お名前は？	・人称代名詞 ・“是”の文を書く・話す	6	(AはBである)を述べるができる		確認テスト エッセイ 授業態度	●		●	●	●	
		第二課 これは何？	・助詞的の使い方 ・何 誰 を使った疑問文	6	の名前や誰、誰のものを述べるができる		確認テスト エッセイ 授業態度	●		●	●	●	
		第三課 どこに行くの？	・動詞の文 ・省略疑問	6	動詞使って、日常の行動が述べられるようにする。		確認テスト エッセイ 授業態度	●		●	●	●	
		まとめ	え合わせ、間違いの多い問題を解説し、練	2	一学期の内容を理解し、発音できるようになる		パフォーマンステスト 原稿、資料 授業態度	●		●	●	●	
		1学期評定											
		2 学期 (1 3 週)	第四課 このバッグどう？	・助数詞 ・形容詞文	6	助数詞や形容詞を使って、より詳しいことが述べられるようになる。		確認テスト エッセイ 授業態度	●		●	●	●
			第五課 ご飯食べた？	・完了形(過去形と現在完了形) ・現在や過去のある時点までに経験したことを述べる	6	完了形を使って体験を述べるができる		確認テスト エッセイ 授業態度	●		●	●	●
			第六課 用事あるの？	数字、日付・時刻を表わす語	4	年月日、曜日、時間を使った表現ができるようになる		確認テスト エッセイ 授業態度	●		●	●	●
			第七課 どこに住んでいるの？	・可能の助動詞 ・人や物について説明する	6	・可能の助動詞を使って、「何かができる」を説明する。 ・「得」を使って、しなければならない状況を説明する。		確認テスト エッセイ 授業態度	●		●	●	●
			二学期まとめ	二学期で学んだ表現を使った会話練習	4	・中国語で簡単な会話ができるようになる。		パフォーマンステスト 原稿、資料 授業態度	●		●	●	●
			2学期評定										
		3 学期 (9 週)	第八課 週に何日働きますか？	・時間量 ・助動詞「～しなければならない」	8	・何年・何ヶ月・何週間・何日などを使って、一定期間何をしたかを述べる。 ・「得」を使って、しなければならない状況を説明する。		原稿 エッセイ 授業態度	●		●	●	●
第九課 アメリカに行ったことがありますか？	・過去の経験を述べる		8	過去に経験した事を述べるができる。		原稿 エッセイ 授業態度	●		●	●	●		
自己紹介文	・自己紹介のスピーチ		2	・今までのまとめとして自己紹介スピーチを行う。		パフォーマンステスト 原稿、資料 授業態度	●		●	●	●		
3学期評定													
年間評定													

教科	第2外国語	科目名	ドイツ語		対象学年	2年	単位数	2	観点別評価			
使用教科書	ドイツ語コミュニケーションneu ² (朝日出版社)				教科担当	植松なつみ			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
補助教材												
学期	単元	学習内容	配当時間	評価標準(到達目標)	評価方法							
1 学期 (1 3 週)	アルファベット つづりと発音	・ドイツ語のアルファベット ・つづりと発音	4	アルファベットを正しく発音できる 発音規則にしたがって単語を発音できる	確認テスト		●	●	●			
	Lektion 0 Guten Morgen!	・ドイツ語のあいさつ ・数詞	4	ドイツ語であいさつができる 0から100までの数字を正しく発音できる	まとめテスト		●	●	●			
	Lektion 1 Ich heie Tanaka Makoto.	・人称代名詞 ・動詞の現在人称変化 ・sein ・疑問詞	4	主語に合わせて動詞を正しく人称変化できる 名前、出身地、住んでいる場所、年齢、職業について質疑応答できる	提出物	●	●	●	●			
	Lektion 2 Was machst du?	・haben ・名詞の性 ・語順 ・決定疑問文と答え方	4	主語に合わせて動詞を正しく人称変化できる 名詞の性に合わせて定冠詞を使い分けすることができる 学んでいる言語と趣味について質疑応答できる	提出物	●	●	●	●			
	Lektion 3 Was kostet der Hut?	・定冠詞と名詞の格変化 ・名詞の複数形	4	名詞の格(1・4格)に合わせて定冠詞を変化できる 値段について質疑応答できる	提出物	●	●	●	●			
	Lektion 4 Ich mchte eine Tasse Kaffee.	・不定冠詞 ・否定冠詞	4	名詞の格(1・4格)に合わせて不定・否定冠詞を変化できる 持ち物について質疑応答できる	提出物	●	●	●	●			
	まとめテスト	・筆記テスト ・口頭テスト	2	・1学期のまとめとして筆記試験と口頭試験を行う	筆記テスト		●	●	●			
					口頭テスト		●	●	●			
	1学期評定											
	2 学期 (1 3 週)	Lektion 4 Ich mchte eine Tasse Kaffee.	・所有冠詞	4	名詞の格(1・4格)に合わせて所有冠詞を変化できる 家族について質疑応答できる	提出物	●	●	●	●		
		Lektion 5 Hier spricht Sabine.	・現在人称変化の不規則な動詞(1) ・名詞の3格 ・人を表す疑問代名詞	6	・主語に合わせて不規則変化動詞を正しく人称変化できる ・名詞の格(3格)に合わせて冠詞を変化できる	提出物	●	●	●	●		
		Lektion 6 Was nimmst du?	・現在人称変化の不規則な動詞(2) ・人称代名詞 ・非人称のes	6	・主語に合わせて不規則変化動詞を正しく人称変化できる ・人称代名詞を正しく変化させて使うことができる ・天気について質疑応答できる	提出物	●	●	●	●		
		Lektion 7 Wie komme ich zum Rathaus?	・前置詞 ・前置詞と定冠詞の融合形	8	・前置詞の格支配を理解し、正しい組み合わせで使うことができる ・どこに何があるか質疑応答できる	提出物	●	●	●	●		
まとめテスト		・筆記テスト ・口頭テスト	2	・2学期のまとめとして筆記試験と口頭試験を行う	筆記テスト		●	●	●			
					口頭テスト		●	●	●			
2学期評定												
3 学期 (9 週)	Lektion 8 Kann man zu Fu zum Hotel gehen?	・話法の助動詞 ・話法の助動詞の現在人称変化 ・話法の助動詞の主な意味	8	・話法の助動詞を主語に合わせて人称変化させ、正しく使うことができる ・できることやしたいことについて質疑応答できる	提出物	●	●	●	●			
	Lektion 9 Wann fhrt der Zug ab?	・分離動詞 ・命令形 ・時刻表現	8	・分離動詞について理解する ・命令文が作れる ・時刻が言える ・1日のスケジュールを伝えることができる	提出物	●	●	●	●			
	まとめテスト	・筆記テスト ・口頭テスト	2	・3学期のまとめとして筆記試験と口頭試験を行う	筆記テスト		●	●	●			
					口頭テスト		●	●	●			
3学期評定												
年間評定												

主な学習内容と授業時数

教科	総合	科目名	総合的な探究の時間	対象学年	2年	単位数	1単位	観点別評価		
使用教科書	なし			教科担当	A組：吉岡 智春 B組：増田 達哉 C組：西 咲慧			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材	なし									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準（到達目標）		評価方法				
主な学習内容と授業時数	1学期（13週）	「総合的な探究の時間」オリエンテーション	1年間の総合的な探究の時間の計画と内容	1	総合的な探究の時間に学習する内容について理解できたか。		ワークシート	●	●	●
		【進】自己の進路進路ガイダンスⅡ	自己の進路（自己の生き方や在り方）をテーマとした探究活動における課題の設定	5	各自の進路についての探究活動の計画が、長期的展望に立って、適確に立案できたか。		ワークシート	●	●	●
		【国】国際理解研究テーマの決定	現代社会の直面する諸課題について、各自の興味・関心に従って課題を選択し、研究テーマを設定する。	7	国際理解をテーマとして研究・討議・発表が円滑に行われ、また、研究テーマ及び訪問地についての理解が深まったか。		ワークシート	●	●	●
	1学期評定									
	2学期（13週）	【国】国際理解に関するグループ研究	グループで設定したテーマについての情報の収集	7	国際理解をテーマとして研究・討議・発表が円滑に行われ、また、研究テーマ及び訪問地についての理解が深まったか。		ワークシート	●	●	●
		修学旅行事前学習	種子島についての地理的、歴史的考察を行い、理解を深める	4	訪問地についての理解が深まったか。		ワークシート	●	●	●
		【進】キャリアセミナーⅤ	外部講師によるキャリア形成の講演	2	講演を聞き、自分の進路を具体的に展望することができたか。		ワークシート	●	●	●
	2学期評定									
	3学期（9週）	【進】進路ガイダンス	進路選択に向けた講話やガイダンスを行う。	3	3学期は高3の0学期として位置づけ、進路実現に向けた意識の醸成ができたか。		ワークシート	●	●	●
		「総合・進路学習」探究活動のまとめ	1年間、探究に取り組むことで理解したことや将来の在り方、生き方について考えたことをまとめて「3年間の軌跡」として報告書を作成する。	6	自分自身の適性や興味・方向性を、進路学習及び文章表現学習を通して考え、報告書を作成させ、評価する。		ワークシート	●	●	●
3学期評定										
年間評定										